



くすりと健康

一般社団法人
神戸市薬剤師会

点眼薬の使い方

皆さん一度は点眼薬を使われたことがあると思いますが、意外と正しい使い方をご存じない方がおられます。今回はその使い方についてのお話をします。

点眼薬を使う時は、顔をあげて容器の先がまぶたやまつげに触れないように注意して、薬液を1滴落とします。薬液がうまく目に入ったら、それ以上点眼しても外に溢れ出るか、涙管という目と鼻をつなぐ管を通って喉の方に流れていくだけで、点眼薬がよく効いたり早く効いたりということはありません。逆に、副作用の原因になったりすることもありません。また、点眼した後、目をパチパチと瞬かせる人がいますが、これは薬液を目から流し出してしまいうので、やってはいけません。点眼した後は、目を閉じて涙管のある目を1分ほど押さえ薬液が喉の方

に流れていくのを防いでください。そうすることで薬液の成分が目浸透して効果を発揮します。その後、目の周りに残った薬液はティッシュなどでふき取ってください。コンタクトレンズを使用している場合は、コンタクト用の点眼薬を使用してください。それ以外の点眼薬を使用する場合は、コンタクトをはずして点眼し、10分以上、十分に時間をあけてから装着してください。

2種類以上点眼薬を使用する時は、前の点眼薬を使って5分以上たつてから次の点眼薬を使ってください。間隔をあげずに続けて点眼すると、先に使った薬液が後から点眼した薬液で押し流されてしまい、十分に効果を発揮できなくなります。使う順番ですが、病院や薬局で指示を受けている場合はそれに従ってください。指示がない場合は、『よく振ってください』と書かれた点眼薬は水に溶けにくく吸収されにくいので最後に点眼。一番効果を期待

する点眼薬を後から点眼」ということを参考にしてください。

容器に「冷所保存」や「10度以下」などと書かれている点眼薬は冷蔵庫で保存してください。光に弱い成分を含んだ「遮光保存」と書かれている点眼薬は、遮光袋に入れるなどなるべく光に当たらないように保存してください。それ以外の点眼薬は、特に熱くなる場所であれば部屋の中で保存しても大丈夫です。また、点眼薬の容器には使用期限が書かれていますが、これは未開封での使用期限です。開封した点眼薬は、開けてから1〜3カ月で使い切ってください。それ以上たつた点眼薬は残っていても使用しない方がよいでしょう。

